

当院でのインターベンションを受ける患者の入院から退院まで

小山順子 林明美 松井純子 伊藤泰子 請井伸衣 井上弘美 浅井優子
豊橋ハートセンター・病看

当院は病床数 30 床の循環器専門病院である。平成 12 年 1 年間に 2679 件の診断カテと 1080 件の冠インターベンション(以下 CI と略す)、更に 238 件の開心術とその他 50 件の手術を施行した。待機的 CI を受ける患者は施行当日の昼に入院、午後 CI を受け翌朝血算、生化学の採血と心電図をとり医師より術後の説明を受け退院するというシステムをとっている。術中、術後の経過は出血があったり、術後まで遷延する胸部症状がみられたり症例によって様々である。その様々の経過で翌日退院していく現状に問題はなかったのか調査したので報告する。【目的】CI を受け翌日退院することの妥当性を考える。【対象】平成 13 年 1 月から 8 月までに当院で CI を受けた 775 例中翌日退院した 579 例を対象とした。【方法】対象を当院通院患者 196 例と他院紹介例 383 例の 2 群に別け以下の項目を検討した。1. 術中 IABP サポートを要した例、2. 術後病棟にて胸部症状を訴えた例、3. 退院時創部の内出血、硬結を認めた例、4. 翌朝のヘモグロビン値(Hb)、ヘマトクリット値(Hct)が正常値以下を示した例、5. 翌朝の CPK 400IU を示した例、

【結果】

	Overall (n=579)	通院患者 (n = 196)	紹介患者 (n = 383)	P-value
IABP サポート	18(3.1%)	7(3.5%)	11(2.8%)	n.s.
術後胸部症状	63(10.8%)	18(9.1%)	45(11.7%)	n.s.
内出血・硬結	90(15.5%)	17(8.6%)	73(19.1%)	P = 0.016
H b < 1 1 g/dl	36(6.2%)	14(7.1%)	22(5.7%)	n.s.
H c t < 3 3 %	90(15.5%)	39(19.9%)	51(13.3%)	n.s.
CPK 400UI/l	42(7.2%)	19(9.7%)	23(6.0%)	n.s.

< 重複回答で

ある >

通院患者、紹介患者とでは内出血・硬結以外は大きな有意差はみられなかった。通院患者で退院後異常を感じて外来受診した患者 2 名、通院患者で再入院となった患者 2 名であった。

【まとめ】1. 通院患者で CI 後退院し、再受診、再入院となった患者は各 2 名(2%)であった。様々な経過の中、翌日退院をさせている現状に問題はないと考える。2. 安静中の胸部症状があった患者、内出血・硬結のあった患者、Hct の低下のみられた患者への退院時の個別的ケアを考える必要がある。3. CI 後他院通院する患者が 6.6% を占める。退院後の状態について不明な為、今後電話訪問など追跡調査が必要ではないかと考える。